

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	HOPPA堀切菖蒲園
施設所在地	
法人名	

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

物の浮き沈み素材別に体験させて、5月からプランターで育てた野菜も浮き沈みを体験する。

<テーマの設定理由>

夏の活動として、たらいに木の船や発砲スチロールの船を浮かべていたので、木の船や発砲スチロールの船は、浮いているという認識があったのでテーマ設定につながった。

### 2. 活動スケジュール

- ・野菜の苗のを植える～5月～6月～7月（当番活動として水やりをする）
- ・素材を選び購入する。→ 8月たらいに水をはり実験  
10月野菜の浮き沈みを行う

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・園庭にプランターを置き5月の連休に野菜の苗を購入  
苗を植える時は、土作りから行い木と肥料を混ぜ1日日に干して使用した。
- ・身近な素材を用意したり鉄や木の直方体、発砲スチロールは購入  
大きなたらいは水遊び用のものを作った。
- ・模造紙に素材別に表を作り予測した事、結果を書き込める表にした。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・物の浮き沈み  
模造紙に素材の写真を貼り子ども達（5歳児）に予測させ、その理由を聞いて実験結果を確かめる。  
物の素材では、最後にペットボトルを空にした物、水を入れた物はどうなるか実験の結果を踏まえて考えた。  
野菜は、葉付きの大根、葉付の人参、土の上に出る野菜、土の下に出る野菜を検証した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・浮き沈みの実験を行なう中で予測する時、子ども同士で話し合う姿が見られた。  
予測がはずれても結果を素直に受け入れる姿があった。
- ・野菜の浮き沈みの中では、保育者に太陽の光をたくさん浴びている野菜は、きっと浮くと思うと自分の意見を伝える姿があった。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

2回の実験を通して、子ども達は1回の実験結果から2回目の実験に繋げて回答を出してくれていたの  
子ども達が継続して思考してくれた事に感心させられました。  
体験する事がいかに大切が気づかされました。